

事務事業名		郷土資料保存田沼館維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					事業区分	担当組織	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館
	政策	2 生涯にわたり学びのあるまちづくり						担当係			担当課長名	山口明良
	施策	2 歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進						新規事業・継続事業				継続事業
	基本事業	1 地域の歴史・文化の理解の促進						実施計画事業・一般事業				一般事業
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業				市単独事業	
	14855	一般	10	4	4	郷土資料保存田沼館維持管理事業	任意的事業・義務的事業				任意的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H16年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法 佐野市立博物館条例	実施方法				直営	
							事業分類				施設維持管理事業(市主体)	
							リーディングプロジェクト				該当なし	
							市長マニフェスト				該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
郷土資料保存田沼館の施設や設備を整備して、利用者に良好な環境を提供する。 施設・設備の維持管理に係る消耗品購入、施設の修繕、館内清掃、施設警備、消防設備・電気設備・空調機器・高架水槽等の保守点検委託			<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理に係る消耗品の購入 火災保険に加入 空調機器、高架水槽、消防設備、電気設備の保守点検及び館内清掃・警備業務の委託(年間) 							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			清掃・警備・保守点検数	件	6	5	5			
			修繕件数	件	0	3	2			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
施設・設備 入館者 収蔵資料			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			施設面積	㎡	720	720	720			
			修繕必要箇所	箇所	0	3	2			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
建物・機器設備を保守・管理し、展示・収蔵施設を整備して、利用者に良好な環境を提供する。			良好に保存された展示品の割合	%	100	100	100			
			入館者数	人	2	8	3			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合	%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円											
	一般財源	千円		1,104		1,207		1,213					
	事業費計(A)	千円		1,104		1,207		1,213		0		0	
	事業費の内訳	千円	燃料費	79	消耗品費	36	消耗品費	14					
			光熱水費	575	燃料費	22	燃料費	47					
			火災保険料	5	光熱水費	660	光熱水費	603					
			清掃委託料	57	修繕料	133	修繕料	182					
警備委託料			183	火災保険料	5	火災保険料	6						
保守委託			205	清掃委託料	57	清掃委託料	65						
				警備委託料	188	警備委託料	188						
				保守委託	106	保守委託	108						
人件費	人		2		2		2						
のべ業務時間	時間		120		120		120						
人件費計(B)	千円		467		473		473		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円		1,571		1,680		1,686		0		0		

事務事業名	郷土資料保存田沼館維持管理事業	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館	担当係	
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町が設置した郷土資料保存田沼館を、平成17年の合併時に引継ぎ、郷土博物館の別館として位置づけられたことに始まる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	企業利益の低迷や自治体の財政難に伴い、私立・公立の博物館とも経営合理化が求められ、休館・閉館の事例も見られる。当館は、平成50年に建物が建築されたため、施設設備の老朽化が目立つ。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	郷土博物館協議会では、郷土資料保存田沼館の見学者が少なく、展示資料の資料的価値を疑問視する意見が聞かれる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	アクティブ教室等の関係部署との打合せを行い、移転先について協議を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 施設や設備を整備して、利用者に良好な環境を提供し、郷土の歴史に触れる機会を与えることは、市民の学術・文化水準の向上や郷土への愛着を育むことにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 田沼館を維持管理する(博物館法の掲げる事業)ことは、教育普及の支援施設として、地域の学術・文化水準を押し上げる役割を持ち、住民福祉の向上(地方自治法の掲げる目的)に適用するため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	対象・意図を見直す必要がある	理由・改善案 田沼館は、歴史・文化遺産の保存・展示の役割に疑問が持たれ、また入館者の数も少ないことから、今後の維持管理については、検討を要する。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 田沼館の展示資料については、固定的で数も少ないため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 田沼館は、これまでに冷暖房の使用法や保守委託の仕様等の見直しを行ってきたため、これ以上事業費の削減はできない。人件費も同様である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 博物館法では、「公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持管理のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。」と規定されている。田沼館は常設展のみのため、受益者負担はそぐわない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	田沼館が開館している間は、施設の維持管理は必要であるが、その存在意義がなくなり閉館となった時に、事業は終了する。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																			
目的(対象・意図)再設定	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	田沼館には、アクティブ教室が入っているため、関係各課と協議しながら、今後の方向性について検討する。																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 田沼館は、歴史・文化遺産の保存・展示の役割に疑問がもたれ、また年間の利用者数も少ないため、市有施設見直しの計画の中で、事業廃止相当と判断された。なるべく早い時期に、結論を出す必要がある。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		○	×																		
低下		×	×																		